



1. レオナルド・ダ・ヴィンチ(派)《戦う騎兵の習作》16世紀初期 ペンと褐色インク/紙 ウフィツィ美術館 素描版画室
2. 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《アンギアーリの戦い》の模写 16世紀(1563年以前) 油彩、テンペラ/板 パラッツォ・ヴェッキオ博物館(フィレンツェ美術館群から寄託)
3. ピーテル・パウル・ルーベンスに帰属(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《アンギアーリの戦い》17世紀初頭 油彩/カンヴァス ウィーン美術アカデミー絵画館
4. サンティ・ディ・ティート《ニコロ・マキアヴェッリの肖像》1570年頃 油彩/板 パラッツォ・ヴェッキオ博物館(フィレンツェ美術館群から寄託)
5. 16世紀の画家(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《聖アンナと聖母子》16世紀 油彩/板 ウフィツィ美術館
6. フィレンツェの画家《アンギアーリの戦い》1460年代前半 テンペラ/板 アイルランド国立美術館
7. フィレンツェの画家《ピサの攻略》1460年代前半 テンペラ/板 アイルランド国立美術館

記念講演会《タヴォラ・ドーリア》について考える／レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロの戦争画をめぐる

講師：越川倫明(東京藝術大学 副学長 教授)、フランチェスカ・ボルゴ(ハーヴァード大学 博士課程)

日時：6月6日(土)13:30～16:00

場所：創価大学 大教室棟 2F S202教室 ※入場無料、詳細は東京富士美術館までお問合せ下さい。

「天才ダ・ヴィンチのひみつ」展を同時開催

【会期：5月26日(火)～8月30日(日)】

レオナルド・ダ・ヴィンチが残した素描や手稿のファクシミリ版(原典の忠実な複製版)と、彼の手稿をもとに再現した模型作品を中心に、天才ダ・ヴィンチの芸術、科学、生物学、人体解剖学、飛行技術、機械工学、軍事技術、建築などの多岐にわたる功績をわかりやすく紹介します。

《アンギアーリの戦い(タヴォラ・ドーリア)》に関する貴重なシアター映像

東京富士美術館が本作品をイタリア共和国に寄贈してから、フィレンツェの国立修復研究所で行われた保存修復や科学的分析の様子を記録した貴重な映像に加え、現地ロケで収録された関係者のインタビューなども含む特別映像を館内シアターにて上映します。

アクセス

- 【バス】 ● JR八王子駅北口・西東京バス12番のりばより(平日・土曜の始発から12:27発までは14番のりば)
- 京王八王子駅・西東京バス4番のりばより
創価大正門東京富士美術館行き／創価大学循環 創価大正門東京富士美術館下車
※一部ダイヤが変更する場合があります。
- 【お車】 ● 中央高速八王子インターチェンジ、第2出口より八王子市街方面へ進み、国道16号に合流。三つ目の信号(谷野街道入口)を右折、直進し、二つ目の信号(谷野町)を右折。
- 圏央道あきる野インターチェンジ、秋留橋を左折し、国道411号線(滝山街道)に合流。国道16号方面(八王子市方面)へ直進(6km)。純心学園前交差点を右折し直進(700m)。



巡回予定

- 関西展 2015年8月22日～11月23日 京都文化博物館
東北展 2016年3月19日～5月29日 宮城県美術館



レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

Leonardo da Vinci
and *The Battle of Anghiari*
— The Mystery of *Tavola Doria* —

2015年 5月26日|火| — 8月9日|日|

休館日 | 月曜日(ただし、7/20は開館。7/21は休館)

開館時間 | 10:00～17:00(16:30受付終了)

入館料金 | 大人 1,300(1,000)円 / 大高生 800(700)円 / 中小生 400(300)円 / 未就学児無料

※新館常設展示室もご覧になれます ※()内は前売券、各種割引料金 [20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか]
※前売券は8月9日(日)まで、ローソンチケット(Lコード:37542)、チケットぴあ(Pコード:766-627)にてご購入できます ※土曜日は中小生無料 ※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料 [証明書をご提示下さい。休館日の場合は適用できません]
※障がい児者、付添者1名は半額 [証明書をご提示下さい]

主催：東京富士美術館、読売新聞社 特別後援：イタリア共和国大統領 後援：外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、八王子市、八王子市教育委員会 特別協賛：セコム、日本製紙協賛：大林組、関電工、大日本印刷、みずほ信託銀行 協力：NHKエデュケーション、アリアリア-イタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス 企画：東京富士美術館

※展示会場は作品保存のため、照度・温度を低く設定しております。

16世紀の画家《アンギアーリの戦い(タヴォラ・ドーリア)》16世紀前半 ウフィツィ美術館(東京富士美術館より寄贈)



TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館
〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1
展覧会公式HP www.fujibi.or.jp/anghiari.html
ホームページ www.fujibi.or.jp
お問い合わせ 042-691-4511(東京富士美術館)



レオナルド・ダ・ヴィンチの未完の大壁画制作計画「アンギアーリの戦い」は、今も多くの謎と痕跡を残しています。同壁画はイタリア・ルネサンス美術の歴史の中でも、最も野心的な装飾計画のひとつです。シニョリア宮殿（現ヴェッキオ宮殿）を舞台にレオナルドとミケランジェロが戦闘画において競演したエピソードは大変有名ですが、その計画の全貌はまだまだ明らかにされていません。

本展のメイン作品は、失われたレオナルドの壁画の中心部分をなす激烈な「軍旗争奪」の戦闘場面を描いた、日本初公開の《タヴォラ・ドーリア（ドーリア家の板絵）》として知られる著名な16世紀の油彩画です。本展ではさらにミケランジェロが構想した壁画の原寸大下絵を模写した、同じく日本初公開の16世紀の板絵《カッシナの戦い》が出品されます。原作が失われた二大巨匠の壁画が、いずれも本邦初公開の貴重な16世紀の板絵作品により500年の時を超えてならびあう、イタリア美術史上初の展示が日本で実現します。

レオナルドの構図に基づくその他の模写作品や派生作品、関連する資料類、関連する歴史的人物の肖像画など「アンギアーリの戦い」に関する作品・資料が一堂に集結する世界でも初めての企画展。レオナルドが試みた視覚の革命を検証し、イタリア美術史上の一大エピソードである失われた壁画の謎と魅力に迫ります。



ヴェッキオ宮殿「五百人広間」
© 2014. Photo Scala, Florence

※「アンギアーリの戦い」※

1440年にアレッツォ近郊のトスカナの丘陵地帯にあるアンギアーリ村で起きた同地の橋をめぐるミラノ軍とフィレンツェ軍の戦い。傭兵隊長ニコロ・ピッチニーノのミラノ軍の攻撃をフィレンツェ軍が返り討ちにした。フィレンツェ共和国政府がこの戦勝を記念してレオナルド・ダ・ヴィンチに壁画制作を注文した。



レオナルドとミケランジェロ 幻の競演がここで

◀ 16世紀の画家
《アンギアーリの戦い（タヴォラ・ドーリア）》
16世紀前半 油彩/板 85.0×115.0 cm
ウフィツィ美術館（東京富士美術館より寄贈）
Anonymous 16th-century artist
The Fight for the Standard in the Battle of Anghiari (Tavola Doria)
16th Century, Oil on panel, 85.0 × 115.0 cm
Galleria degli Uffizi, Florence (Donated by Tokyo Fuji Art Museum)

アリストーティレ・ダ・サンガッロ（本名バスティアーノ・ダ・サンガッロ）
《カッシナの戦い》（ミケランジェロの下絵による模写）
1542年 油彩/板 78.7×129.0 cm
ホウカム・ホール、レスター伯爵コレクション
Bastiano da Sangallo, called Aristotile da Sangallo
Battle of Cascina, after Michelangelo
1542, Oil on panel, 78.7 × 129.0 cm
Holkham Hall, Collection of the Earl of Leicester
© Collection of the Earl of Leicester, Holkham Hall, Norfolk
By kind permission of Viscount Coke and the Trustees of Holkham Estate

① レオナルドとミケランジェロ、二大巨匠の競演を再演

いずれも原作が失われた二大巨匠の壁画が、本邦初公開の貴重な16世紀の板絵作品により500年の時を超えてならびあう、イタリア美術史上初の展示が日本で実現。

② レオナルドの革新的な戦闘画「アンギアーリの戦い」に関する初の企画展

イタリア美術史上の一大エピソードであるレオナルドの失われた「アンギアーリの戦い」に関する作品・資料が一堂に集結する世界でも初めての企画展。

③ レオナルドによる戦闘画の視覚革命を体験

レオナルド以前とレオナルド以後でいかに戦闘画が劇的な変化を遂げたか、遺された絵画・素描・版画等の作品・資料によりわかりやすく展示。レオナルドが描いた複雑な人馬の絡み合いを、立体モデルにより三次元で再現します。

本展開催の背景 —イタリア共和国との交流協定

東京富士美術館は、2012年6月、イタリア共和国と交流協定を結び、《アンギアーリの戦い（タヴォラ・ドーリア）》をイタリア共和国に寄贈いたしました。同年12月には、ローマのクイリナーレ宮殿の大統領官邸の会場において、初めて本絵画が公開されました。2013年には、アンギアーリ国立博物館（2013年6月16日～11月3日）、フィレンツェ国立図書館（2013年12月10日～2014年2月28日）で展示され、2014年3月25日から6月29日までウフィツィ美術館「地図の間」で展示公開されました。また、ミラノ万博で開催される「レオナルド展」に出品予定となっています（2015年4月15日～5月17日）。

当館はこのイタリア共和国との交流協定に基づき、2014年7月から2018年6月までの4年間、《アンギアーリの戦い（タヴォラ・ドーリア）》を展示する権利を得ています。このたびフィレンツェ文化財美術館監督局の全面的な協力を得て、《アンギアーリの戦い》について、これまでの学術的成果をふまえて本展覧会を企画いたしました。